

ゆび募金 だより



No.
11

会報 第11号



支援者 のご紹介

株式会社 ファーマみらい

株式会社 ファーマみらい
代表取締役社長: 佃 敏之
本社所在地: 東京都千代田区

弊社は、東邦ホールディングス株式会社の孫会社にあたる調剤薬局約 350 店舗を運営する会社です。東邦ホールディングスのコーポレートスローガンである「全ては健康を願う人々のために」の考えのもと、患者様が安心・安全な服薬ができるようサポートしていくことはもちろんのこと、地域に根差した健康応援ステーションとして、そしてまた、PFP 事業（医薬品分割販売）にいたるまで、包括的に調剤医療に取り組み、在宅医療を支え、処方箋がなくても気軽に寄れる薬局を目指しております。

弊社の社会貢献活動の一環として、JK協会の趣旨に賛同し、ゆび募金自動販売機の設置を推進中です。弊社はこれからも全職員が健康に関わる仕事をしていることを意識し、地域の皆様が安心して安全な暮らしが送れるように日々努めてまいります。



ヒロ薬局古河店

東日本大震災 復興支援

NPO 法人 遠野まごころネット

岩手県沿岸部の被災者支援を行っている NPO 法人遠野まごころネット東京事務局長の柳澤さんにお話をうかがいました。ゆび募金では、被災によって進学に困難を抱える子どもたちの就学を支援する「まごころサンタ基金」に寄付を行っています。

Q. 震災から 4 年近くになりますが、状況はいかがですか？
昨年あたりから人々の意識が変わってきたように感じています。首都圏など非被災地では震災の記憶が風化し、既に復興したのではと思われる方も増えています。

Q. 実際の被災地の状況は？
様々な復興プロセスの不調和が理由で、瓦礫撤去後の復興が全然進んでいません。被災者の間でも、生活再建ができる人とできない人で格差が生まれつつあります。岩手県内でも、まだ 3 万人が仮設住宅での避難生活です。

Q. 「まごころサンタ基金」について
延べ 400 人以上に無利子・無返済義務の奨学金として支給してきました。基金の元になったイベント「サンタが 100 人やってきた！」子どもたちの未来への支援として、資金の続く限り続けていきたいと思っています。



NPO 法人 こどもプロジェクト

NPO 法人こどもプロジェクトは、東京都内で避難生活を送る子どもたちのために、学生ボランティアが学習支援を行っています。理事長の福田さんに、中野区の集会所で月 2 回行われている勉強会を見学させていただきました。



大学生のボランティアがマンツーマンで教えています。震災後から 3 年以上携わってきた学生も、そろそろ卒業が間近。新たなボランティアの確保が近々の課題だそうです。

勉強の後にレクリエーションを行うこともあります。お兄さんお姉さんに遊んでもらえて、子どもたちは大喜びです。避難先にはもともとの住人もいらっしゃるの、地域とのコミュニケーションや連携を大切にしながら活動しているとのこと。



寄付先団体の 活動を知ろう！

自然のちからで、明日をひらく



公益財団法人

日本自然保護協会

【設立】昭和 26 年 【代表】理事長 亀山 章
【所在地】東京都中央区 【URL】<http://www.nacsj.or.jp/>

ほっとする里山の風景や、田畑を潤す水、季節ごとの食べものや地酒、そして祭りや色の名前などの文化。わたしたちのくらしは見えるものばかりでなく、見えないところでも自然に支えられています。

日本自然保護協会は、まだ戦後の復興期の 1949 年に、ダムのに沈もうとしていた尾瀬を守るために結成された「尾瀬保存期成同盟」を前身として、半世紀以上、日本の自然を守る活動を続けてきました。

現在、取り組んでいる「赤谷プロジェクト」では、群馬県みなかみ町北部、首都圏の水源地である利根川上流にある、山の手線の約 1.6 倍の面積の国有林を、地域と林野庁と一緒に協働管理しています。100 年かけて人工林を自然林に戻そうという壮大なプロジェクトです。



自然林に戻すために試験伐採を始めた人工林で、次世代の森をつくる芽生えの調査などもやっています。赤谷プロジェクトでは毎月第 1 土曜日に「赤谷の日」を実施中。参加してくださるサポーターを募集しています。

今の目標は、この森をイヌワシがちゃんと子育てができるようにすること。今年度から、イヌワシが狩りをするのができない人工林を伐採する試験を始めています。この調査の精度と質を高めるためのビデオによるモニタリングシステムを 2015 年度まで運用するためのご支援をお願いしています。

イヌワシの舞う日本の森を未来へ引き継ぐために、ご支援よろしくお願いいたします。



悠々と飛ぶイヌワシ。イヌワシは翼を広げると 2m にもなる大型の猛禽類です。日本のイヌワシのつがい数は、1981 年から 2010 年の間に、333 から 221 つがいに減少しており、絶滅の危機が迫っています。

スタッフこぼれ話

この冬、赤谷の森は久々の大雪！「野生動物がこの雪の中でどう暮らしているか」も重要な調査テーマですが、調査活動のスタッフにとっては厳しい環境です。温泉の多いエリアのため、調査活動で冷え切った後に入る温泉がとてもありがたいです。



出島調査員



赤谷の森で生まれたカスターネット。イヌワシのマーク入りです。

毎年恒例のクリスマスプレゼント！

ジャパン・カインドネス協会は、毎年クリスマスの時期に、福祉施設や養護施設などにささやかなプレゼントをお贈りしています。

昨年12月にも、チョコレートに手作りのクリスマスカードを添えて、お届けしました。



社会福祉法人 日野青い鳥福祉会
福祉的就労の場「あおとり日野」



利用者の皆様と小川友一 本会理事(右)



児童養護施設 生長の家神の国寮



荒地光泰施設長(右)と本会スタッフ

会員を募集しています！

ジャパン・カインドネス協会では、下記の通り会員規約を変更いたしました。
本会の活動理念に賛同してくださる方を、会員として募集しています。
入会に関して詳しいご案内をご希望の方は、事務局までお問い合わせください。

正会員

この法人の目的に賛同して入会した
個人及び団体

- ・入会金及び年会費は無料
- ・総会での議決権を有する
- ・年3回会報「ゆび募金だより」を送付

賛助会員

この法人の目的に賛同し、事業を賛助
するために入会した個人及び団体

- ・入会金は無料、年会費は1万円
- ・総会における議決権はないが、
参考意見を述べる事ができる
- ・年3回会報「ゆび募金だより」を送付

編集後記

2015年の今年、本会は「認定NPO法人」制度に基づき、認定を取得するべく秋に申請を行う予定です。これは、NPO法人のうち一定の要件を満たすものについて、所轄庁が認定を行う制度です。

認定を取得することにより、これまで以上に透明性の高い信頼していただけるNPO法人となるよう、スタッフ“全員一丸”となってい進んでいく所存です。
みなさまにとっても“飛躍の年”になりますように・・・。

最後に、会報第11号の作成にあたり、ご多忙の中ご協力を賜りましたロケオーナー様、寄付先団体様に心より御礼申し上げます。

(青木)

ゆび募金だより 会報第11号

発行日： 2015年2月1日

発行：  特定非営利活動法人ジャパン・カインドネス協会

〒186-0004

東京都国立市中1-18-41 栄ビル301

TEL: 042-571-2233

FAX: 042-571-2263

Eメール: info@jkkyoukai.com

URL: <http://jkkyoukai.com/>